

※ 赤字部分が前回幹事会からの修正点

## ● 「調布スマートシティ協議会」におけるMVV ●



デジタルをはじめとする先端技術を活用し、調布市民の利便性の向上、調布のまちの社会的課題の解決を図る

- ・市単独では生み出せない成果を創出する取組を実施
- ・構成団体が持つ技術やノウハウを生かした取組を実施

産学官民の連携により、社会的課題の解決と経済的価値の創出を両立させることで、持続的成長を続けるまちをつくる

- ・幅広い市民の参加機会を確保
- ・データの利活用を推進

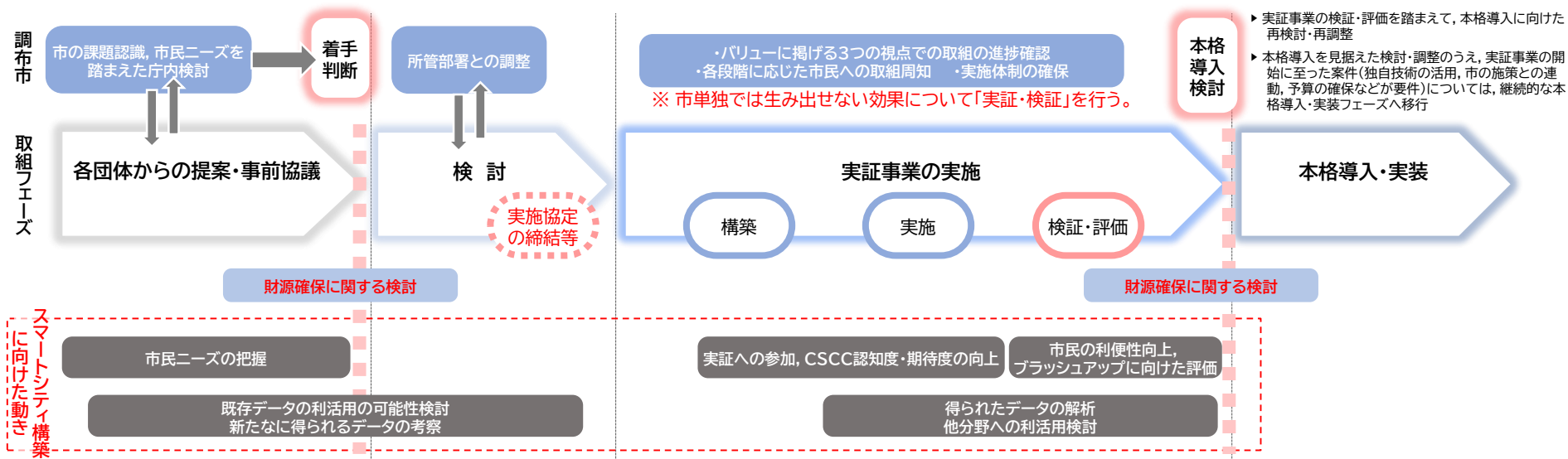
- ① 公共性(市民の利便性向上, 社会的課題の解決への貢献)
- ② 事業性(経済的価値の創出, 持続可能な事業展開)
- ③ 地域性(市独自資源の活用, 市内事業者の活性化)

・協議会は、市単独では生み出せない成果を創出する視点で、新たな取組や既存事業の見直しを「検討する」とともに、それらを各構成団体の有するリソースを活用し「実証する」場

“調布スマートシティ協議会”の  
更なる発展を図るための新たな視点

- ▶ 協議会としての**目標設定**  
・市における位置付けの明確化
- ▶ 協議会活動への**市民の参加機会**の充実
- ▶ 取組の実施・検証**プロセスの明確化**
- ▶ ワーキンググループ主導団体等以外の構成団体による**コミットメント**

## ～ MVVを具現化するための取組モデルフロー ～



※ 赤字部分が前回幹事会からの修正点

## ● 「調布スマートシティ協議会」の中期ロードマップ ●

R3

R6

R7

R8 【設立5周年】

R9

協  
議  
会  
設  
立

協議会の更なる活性化, 活動領域の拡大, 重点課題の抽出

実証事業の実施・検証, 多様な主体のコミットメント強化, 市民の参加機会の充実

構成団体との連携体制の構築, 社会的課題の共有, 各種取組の検討・実施

多様な主体のコミット・取組プロセスの明確化・  
市民の参加機会創出に向けたアジャイル的試行

- ◆ 実証事業を通じた取組モデルフローの確認
- ◆ 検討・協議体制の見直し(全体ミーティングの試行)
- ◆ 市民への情報発信・参加機会の充実

スマートシティ戦略策定に向けた検討,  
事例研究, ディスカッション

- ◆ 協議会の取組として位置付けるべき事業等の見直し  
(MVVに照らし取組範囲を拡大する視点)
- ◆ 協議会として取り組むべき社会的課題の設定に向けた検討  
(全庁的な検討体制の構築, 協議会としての検討体制づくり)
- ◆ 市民ニーズの把握, 市民と協議会との接点づくり

(仮称) 調布市  
スマートシティ  
戦略策定「共有価値創造型ス  
martシティ」政策の  
中長期的な指針とし  
て策定し, 市としての  
将来像や重点的に取  
り組む社会的課題の  
設定を目指す(内容  
更新のタイミング等  
要検討)調布市後期基本計画  
(令和9年度～令和12年度)デジタル技術等を活用  
した産学官連携による  
価値創造の視点を分野  
横断的に位置付け, 計  
画期間における優先的  
取組課題を設定

課題設定にあわせたWG等の再設定

- ◆ 市の課題提起にあわせた協議会としての推進  
体制について, 必要に応じて見直しを図る